

# つるが いきいき子ども未来プラン

## ～次世代育成支援対策行動計画～

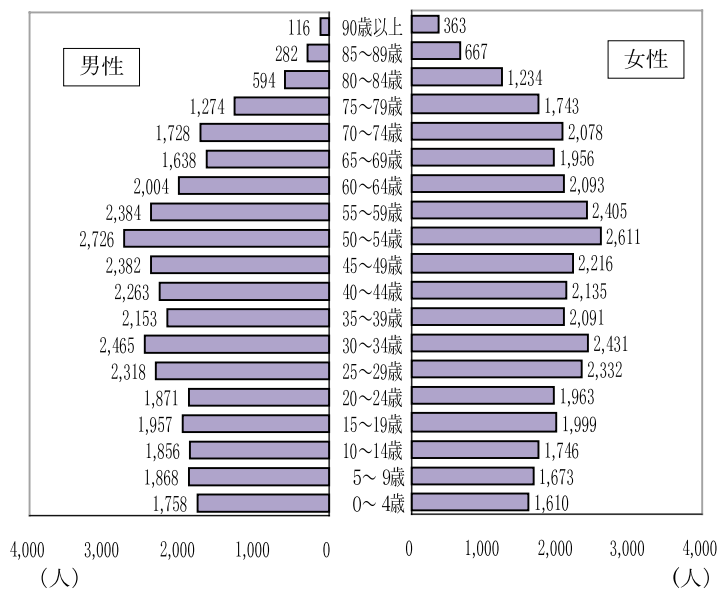
### 計画策定の趣旨

我が国では少子化の進行は急速に進んでおり、国政上の重要課題になっています。敦賀市では平成14年度に「敦賀市エンゼルプラン（児童育成計画）」を策定し各種取り組みを実施していますが、平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」が制定されました。そこで、エンゼルプランをふまえて、今後5年間（平成17～21年度）を計画期間とし、子ども達に係る各種施策分野の連携と市民との協働による「みんなで支えあうまちづくり」の推進に向けた「敦賀市次世代育成支援対策行動計画」を新たに策定しました。

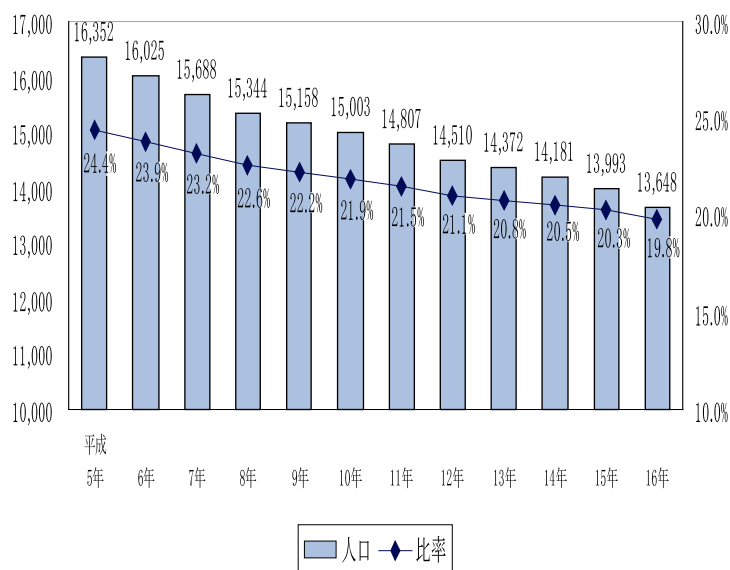


### 敦賀市の子育てをとりまく現況

＜敦賀市の人口ピラミッド(平成16年4月1日現在)＞



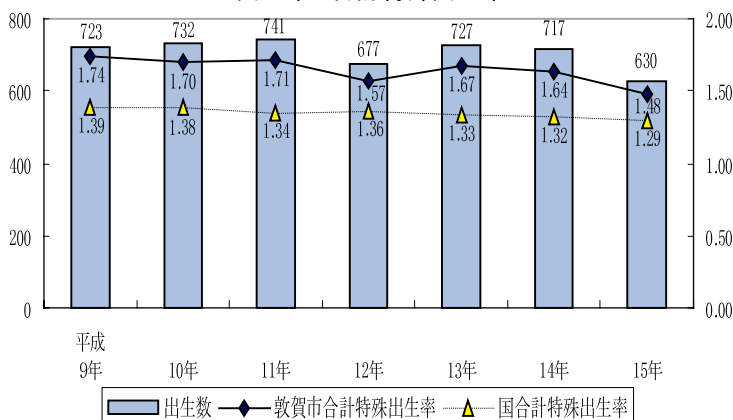
＜18歳未満の人口及び比率の推移＞



25歳未満の人口が少ないためピラミッドのすそが狭まる“つぼ型”に近い形になっています。

0歳～18歳までの近年の人口は減少傾向が続いており、平成16年は13,648人、総人口に占める比率は19.8%と5人に1人程度となっています。

＜出生率と合計特殊出生率＞



合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性が一生に生む子どもの数

出生数については、20歳代後半から30歳代前半までの子育て世代が比較的多くなったことも影響し、平成14年までは大きな増減はみられませんが、平成15年は630人と近年では最も低い数値となっています。女性が一生の間に生む子どもの数を示す合計特殊出生率についても、全国の水準と比較すると高いものの、平成15年は1.48にまで低下しています。

